

たわわ

TAWAWA

NPO 法人地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2011年7月10日

116号

NPO 法人

「地域で生きる障害者を支える会」

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

心を一つに結んで

被災地の障害者を応援



——チャリティーコンサート大盛況！に終わる——

3月11日の大震災から3ヶ月たった6月12日に催した、チャリティーコンサート“ドミトリー・シシキン ピアノリサイタル”は、たくさんの皆様のご協力と、応援をいただいて、無事成功のうちにおわりようやく結果がまとまりました。

チケットの売り上げ、ご寄付、ご協賛などをあわせた総収入から、諸経費を除き純益金の全額903,641円を、被災地の障害者や小規模の障害者福祉施設の復興のために役立てるため、横浜市の障害者団体3連絡会（横浜市障害者地域作業所連絡会、横浜市障害者地域活動ホーム連絡会、横浜市グループホーム連絡会）が組織する『TEAM3』に振込みました。できるだけ早く被災地へ届け、役立てて欲しいと願っております。

* * *

今回、私たち「支える会」では、コンサートの開催と同時に、たわわの増刊号を発行・配布し、障害当事者の思いや、現地の支援活動に行かれた方たちの報告などを特集して、より多くの方たちに私たちの活動を知っていただくことにしました。

準備期間も非常に少なかったのですが、“いま私たちができる事”として、精一杯必死で取り組んだと言っても過言ではありません。また、ご協力団体をはじめ、各方面のご支援により、お陰様で、これまでのチャリティーコンサートを上回るご協力・ご支援をいただきました。心より感謝もうしあげ、被災された皆様には、横浜からの応援の心を一つにして、お届けさせていただきます。

* * *

ドミトリー・シシキンさんのピアノ演奏は、2007年にも、ジュニアの部ショパンコンクールで優勝されたばかりのときに来日され、世界一の演奏を聞かせて下さいましたが、今回も文化交流の一環として、来日されていました。演奏内容も、私たちになじみのある曲にさせていただき、それが一層ご来場の皆様の感動をよびました。

ロシアでも、東日本大震災へのチャリティーイベントに参加されたそうです。

アンコールでは、「こころは、ひとつです」と日本語で言われ、日本の曲「ふるさと」を静かに演奏。会場からも自然と歌声が聞こえ、まさに皆さんの気持ちが一つになって終演となりました。すがすがしい青年による、力あふれ繊細な素晴らしい演奏会でした。

また久々に、もとよつばホームのメンバーで、障害の重度化に伴いやむなく横浜療育園に入所した藤田博之さんが、特別外出許可をいただいて参加できました。ことのほかピアノが好きな博之さんですので、充分楽しんでいただけたようです。私たちにとっても、とても嬉しいことでした。



* * *

さて、被災地の障害者の状況について、何度か話を聞く機会がありました。障害当事者の報告は、一般マスコミでは報じられない視点があり、今後末永く見守っていく必要を感じさせられます。

昔に比べ今は、大小数多くの活動の場ができていますが、一方まだまだ、部屋の奥に隠されて暮らす障害者たちがいることも、今回の被災の調査で訪ねる折に、発見されたりしているようです。

どんなに重い障害を持った人も、個性を尊重され、その人らしい社会参加と安心した暮らしが出来るよう、社会の仕組みとしても皆で支えていかなばなりません。どうか、現地の皆さんも、これまで頑張ってきたバイタリティーをもって、復興に力を注いでほしいとおもいます。

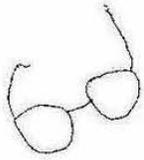
写真展⑨—地域で生きる重度障害者—開催される

7月4日(月)～9日(土)まで 大倉山「ギャラリー かれん」で

今年も、恒例になっている写真・パネル展を開催いたしました。こちらのほうは、会場予約する関係で、昨年早々より開催日も決まっていたので、動かす事もできず、



チャリティーコンサートの集約もすまない3週間後の開催となりました。もう少し準備期間が欲しかったところですが、開催中は、毎日暑い中をご来場頂き、新しい出会いも多くありました。重度障害者の活動する様子や、表情をご覧頂き、『一人ひとりの個性を尊重し、地域の中でその人らしく暮らすために、どんな支援が必要なのか』を知っていただけたと思います。



めがねの声

◇友だちって大切ね...

この前、地域で生きる障害者を支える会で、大震災の被災地の障害者たちのために、コンサートをしました。

私たちは、いろいろな人から話を聞いたりするだけだったのですが、同じ障害者として応援したいと思って、私もチケットを売るお手伝いをしました。

私は、いろいろなことが不自由ですが、お手紙を書くことは出来るので、できるだけのはしとパソコンのメールや手紙で、知り合いの人などに呼びかけました。

今度はなかなかお返事がありませんでしたが、ボツボツお返事がきました。母と仲良しの知り合いとで「おかしいね。今度は、少し大変ね...」と言って心配しましたが、コンサートの時には、たくさんの方がきてくださいました。私の友だちや先生たちもきて下さって、とても嬉しかったです。

私は小さいときからお手紙を書くのが好きなので、よくだしてきました。年賀はがきなども、もう切ろうかなと思う人がいても、ずっと出す事でまた続いて、何かのときや、思いがけないときに会いにきてくれたりします。今度もそういう人たちがたくさん来て下さって、ほんとによかったなと思いました。

* * *

私は小さいときから、音楽が大好きです。今度は、ドミトリー・シシキンさんのピアノを聞いて、すぐ前でしたので、お顔を見たりピアノを弾く手もよく見えて、とても強く感動しました。少し心配もしましたが、皆さんに会えたり、良い演奏が聞けたり、とてもいい日でした。“自分へのごほうび”だなと思いました。

大原友子

ご入会 ご継続 ありがとうございます。 (敬称略)

【会員】

福田 定子 花岡 満子

【賛助会員】

関野 茂喜	渡辺 正恵	赤瀬 和江	三上 貴子	中木屋裕子
中木屋 将	中木屋摩耶	磯村 博子	飯田 静子	清宮 一恵
石瀬 有治	宮 邦子	西脇 久夫	西脇 五月	西脇美登里
生稲 精子	金子留美子	丸山 洋子	荒井 洋一	荒井奈津美

【団体賛助】

パナホーム株式会社

(平成23年6月28日現在)

お便りありがとうございます。



いつも応援していますので、障害者にやさしい世の中にしましょう。 石瀬 有治様

今月のよつばホーム・第2よつばホーム

はじめとした梅雨の季節も明けましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

6/12(日)ラポールシアターにて、ロシアの若き天才ピアニスト、デミトリー・シシキンさんのコンサートが行われました。

このコンサートは、支える会主催の東日本大震災被災障害者の為のチャリティーコンサートです。よつばメンバーはグループホームで昼食をとって、福祉タクシーやスタッフの車に乗りいざ出発！

到着すると会場は既に沢山の人があふれています。お客さんとして来てくれた知り合いや昔の先生などに挨拶を済ませると、いよいよ開演です♪

シシキンさんはさすが天才の名に違わぬ超絶技巧！

その指先から繰り出されるピアノはまるで神業のようで、思わず聞きほれてしまいました♪

コンサートはみんなそれぞれのペースで演奏を楽しむことができました。

忙しいスケジュールの中来て下さったシシキンさん、ありがとうございました！

そして、このコンサートで上げられた収益が少しでも早く被災障害者のところへ届き、彼らの生活を支えてくれることを願っています。

* * *

6/19(日)花岡さんがGH泊まりの予定でしたので、日中は外食に行きました。

それを知った次郎さんも「一緒に行きたい♪」ということで、新吉田のイオンまでお出かけしました。次郎さんは2Fのショッピングスペースで自分で使うものを買ったり、ずっと探していた古い曲が収録されたCDを見つけ、大喜びで購入しました。

花岡さんは1Fで生活必需品などを自分で選び、支払いのためにレジへ。お金を支払ったあとレジのお姉さんと固い握手を交わしてきました♪

昼食は2Fのフードコーナーでラーメン、餃子、炒飯等をみんなでわけあいながら色々な種類を少しずつ食べました。

ゲームコーナーでは2人共ノリノリでそれぞれ好きなゲームにハマっていました。

次郎さんはもぐら叩き、乗り物、ボウリングをしました。ボウリングではサウスポーから繰り出される絶妙なコントロールでハイスコアをたたき出していました。

一方、花岡さんはクレーンゲームコーナーへ。可愛いマスコットをゲットする為に悪戦苦闘！この上なく真剣な表情でクレーンを操り、何とかラストチャンスで狙っていたマスコットを取ることが出来たととても嬉しそうな様子でした。梅雨の晴れ間の心地よい午後だったので帰りはのんびり散歩しました。大満足の日曜日、といったところでしょうか...

* * *

6/1(水)に『よつばの文科系担当』勢津子さんと友子さんが、しもだの個別外出で『ちひろ美術館』へ行って来ました。

いわさきちひろの独特の水彩画に癒され、美術鑑賞を満喫できた様です。

